

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－81）、MOX 燃料加工施設（1－78）」

2. 日時：令和3年10月20日（水） 10時00分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理副事業部長 他 30名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子燃料サイクルグループ 副主幹

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ

グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門原燃計画 グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

MHI NS エンジニアリング株式会社 構造技術部 機器構造設計グループ 担当

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)
- ・ 令和 3 年 10 月 12 日  
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 10 月 12 日  
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁清水です。録音開始しました。それでは進行のほうをモリノさんですかねよろしくをお願いします。
0:00:09	はい。それでは10月20日月曜日の案ピアリングを開催したいと思います。本件については、ブリードっていうのありました。
0:00:21	施行に説明目途としてちょっと再処理施設の設工認に関するヒアリングです。規制庁側からの出席者ですけれども、コサク調査官、ツガネ審査官、ハバサキ審査官キシノ審査官カミデ新高森のほうになっております。
0:00:40	日本原燃から出席者の紹介をお願いいたします。
0:00:44	はい。日本原燃の藤野です。日本原燃側の出席者ですが、事務局として再処理からムラノナガサワ、タカハシフジノ
0:00:53	MOXのほうからタカマツタニグチ、イトウヤマダ
0:00:58	そうですね説明者としてですね、エビナ、サガワキクチ富化ヨシダスケカワ、ニシヤマナツメ、コマツウエノもどうぞナカムラトガシイナズマ、ウラバヤシスガワラ
0:01:15	ハラダメキ、タナカコウタケ、イシハライシバシ、あと三菱重工さんから皆様へ参加する予定になってます。以上、本日の出席者となります。
0:01:26	本日説明する資料ですが、来れた耐震綺麗関係の資料三つですね、波及的影響定ピッチスパンペイ既設工認からの変更点ということでよろしいのであればですね、耐震切れん0三番のほうから説明のほうに入らせていただきたいと思います。
0:01:44	すいません規制庁のモリノです。本日ですねこちらから資料は読んでおまして指摘事項も用意してください。はい、確認事項も用意しておりますので、こちらから確認事実確認させていただければと思います。まず時0-03の絵と、
0:02:04	波及的影響のほうからですね始めさせていただければと思うんですが下にいかがでしょうか。日本原燃するんです。了解いたしましたよろしく願いいたします。
0:02:13	はい、それでは規制庁側から
0:02:17	差し引き03に関する確認事実確認をお願いします。
0:02:24	規制庁カミデです。まずですね本日全般なかなか資料が精査されてないというところで、
0:02:34	説明が不足してる所、あとこちらば認識こちらの認識と合っていないなというところだけポイントを絞ってですね、説明の拡充をすべき点をお話ししようとは思ってるんですけど、その上で、
0:02:50	日本原燃としてこれだけは説明しておきたいというところはないですか、一応確認させてください。
0:03:00	断言する結構あれですけど、補足で説明させていただく事項等は特にございません。よろしくをお願いします。

0:03:09	はい。規制庁関係です。そうするとまず耐震起電 03 ですが、まずお伝えしておきたいのか、今回第 1 回申請対象の波及的影響の評価対象っていうのが飛来物防護ネット等分析建屋になってますと、
0:03:27	ということで話は聞いているものの、本当にそれですべてかっていうのはまだ現時点でも確認できていないところです。その対象が増えてですね今後確認する範囲も増えるので本当にこういうすべてかっていうところをきちんと書類上で、
0:03:47	説明したばっか説明していただく必要があると思っていますので、
0:03:53	具体的に幾つかお伝えしますが、例えば 76 ページにあるようなですね。
0:04:05	選定結果の表があるんですけど、この辺の選定過程も表面上のプロセスと、あと単純な結果ですね、やった結果こうでしたというところだけ、今説明があつてねえ。実際にどういう作業したのか。
0:04:24	っていうのはこの冷却塔とかについては説明がないと。
0:04:28	いうところなので、そのプロセスの妥当性を確認するためにも実態以降の低角等に対してどんな確認をしたのかというのは、エビデンスを持って説明をいただきたいと思います。
0:04:42	加えて言うと、例示で言いますと、例えば 71 ページに配置図もありますけど、
0:04:52	選定した建屋で結構これは何建屋事実というものがあってですね、あの周りはまだ白枠で囲った建物があってこれがどんなものなのかっていうのもわからない状態で結果として分析建屋、あとは、ネットだけなんですと言われても、
0:05:10	なかなかこちらとしては確認がしづらいというところなので、その点認識いただいてですね、全般的に資料見直しをいただきたいなと思ってんですけど、いかがでしょうか。
0:05:28	はい、日本原燃さんがですね、今の御指摘に対しまして 71 ページですね、結果だけっていうところでプロセスを改定訂じゃ手段で何をやったんだっていうところが見えないというところの御指摘に対しましては、例えば冷却塔っていうところがあって、周りに白く抜いてる所こちらこちらとか、
0:05:47	これらの建屋についてこういう確認してますっていうところの手段を確保が必要だと考えてございます。それとあと冷却棟に設置されているものですね、設備としましてその周辺も同じような手段っていうところをウォークダウンであるのかなのかっていうところがわかるように拡充する必要があるで理解してますので、
0:06:06	ここにつきましては、設備所管課の方と消火と話をして、ちょっと拡充して修正いたします。以上です。
0:06:15	規制庁コサクです。ちょっとカミデさんにまず確認なんですけど。
0:06:21	今話になったので、今回初めて行ったことなのか、これまで言った。
0:06:30	規制庁カミデです。これまでも伝えていて、どういう確認をしたんだって本当にこれだけなのかというのは以前のヒアリングでも話をしていた、若干、

0:06:42	若干その 76 ページとかの表でも若干こういうプロセスで弾きましたみたいなものを表面的には取り入れてるんですけど、それだけではこちらとしては確認ができないというところですよ。
0:06:59	規制庁コサクです。今若干といった話のところですけど、原燃はそのあたりどう認識をして対応して、
0:07:09	いうことを説明いただきたいと思ってましてというのも最初にカミデから補足説明
0:07:18	答え切れてないという思いがあるところがあればその旨を教えてくださいというところ。
0:07:25	それが何もありませんっていうことだったので、どういう認識での資料になっている。
0:07:30	あれになってるかっていうことでの認識をお聞かせいただければと思う。
0:07:40	はい。
0:07:43	少々お待ちください。
0:07:46	うん。
0:07:56	よろしく。
0:07:57	レジだって言っても、こちられちゃって。
0:08:04	。
0:08:15	日本原燃のスガワラです。
0:08:18	私としてはですね 70 ページのところの前々回いただいたコメントで前回に一度返していた部分にはなるんですけども、70 ページの
0:08:34	当市の方のパラグラフで、
0:08:43	以降の表で抽出したもの以外の下位クラス施設については、これこれの離隔距離をとって配置されていることを確認しましたというところを前会ですね、
0:08:58	反映していいかというところでございます。
0:09:07	規制庁コサクですけど、今の
0:09:11	これはあれですかね、一番下の下線を引いている部分の前の部分っていうことですか。
0:09:18	はいその通りでございます。
0:09:20	日本原燃スガワラです。
0:09:25	ちょっとよくわかんないんですけどそこで書かれてるので、3-1-1 表って。
0:09:32	いうことになって、
0:09:34	てますけど、これで他がはっきり起こさないんだ。
0:09:44	日本原燃のスガワラです。フローのですね一番前段ののところに該当する部分で、まず離隔距離が十分かというところのフローがございまして、この段階で距離がとれていることを確認しておりますという旨をですね。
0:10:04	ちょっと前回の生活していたというところでございます。
0:10:09	よって、分析という抵触ですけどその対応で先ほどカミデた。

0:10:16	2、
0:10:19	フロー通りやってるからいいでしょうと言ってるだけかを何も変わらないんですけど、それでコメント対応できるとか、できたと思ったんでしょうか。
0:10:32	すいません。日本エヌスガワラです。すいません前々回のちょっとコメントいただいたときの、ちょっと私の受けとめがちょっとそうそういったことなのかなというより、ちょっと思ってしまったというところなんですけれども、ちょっと今日改めて
0:10:47	御指摘をいただいて、もう少し具体的なところは必要だというふうに認識いたしましたので、検討させていただきたいと思っております。
0:11:01	はい。補足です。こういうやりとりをですね、半年以上続けてるんですよ。
0:11:09	具体的に本件について、いつどういう言い方をこちらは下のかっていうのが私は覚えてませんし、いつどうこうっていうのは申し上げられないんですけど。
0:11:20	こういうこちら側がこういう説明が必要だと思ってお伝えをしていることが、その次の対応で的確にできてなくてそれが
0:11:31	時間経過をたっても改善されないっていうのが根本的に、
0:11:37	今回の設工認原燃の設工認申請との問題点を持ってまして。
0:11:43	許可の設置、
0:11:46	許可のときには、
0:11:50	から潰し込みはできて、
0:11:54	設工認は一向に改善しないと。
0:11:57	いうことでそれに対してできてないできてないとずっと根気強く我々申し上げてきましたけど、もういい加減そういう
0:12:08	対応はやめて、現在としてしっかり申請者としての対応をとっていただきたいということで、
0:12:16	細かなヒアリング
0:12:18	いうことでお伝えをされていて、dと言ってもさすがに言わないとわからない部分がある。
0:12:26	最低限ヒアリング
0:12:27	それということで耐震のうちのチェックがですね、お話をしているんですけど。
0:12:33	今の話も結局は余りにもひどいので言わないとっていう。こちらの善意で言ってるだけの話であって、対応ができてないっていうこと。
0:12:43	県が認識しなきゃいけない部分だと思うんですけど。
0:12:47	それも随分前から申し上げていて、担当1人が認識ができなかったということではなくて、
0:12:53	管理する。
0:12:55	発生する。
0:12:57	整備
0:12:58	一通り気づくことがいるはず。

0:13:03	いうことは、
0:13:05	今回最後ですから良く認識をして、次回以降できる体制で臨んでいただければと思います。以上です。
0:13:21	海洋面ナガサワでございます。ご指摘の点、よく考慮してですね今回ヒアリング資料を提出、内という期間の中で取られたとしてもですねコメントリストのチェックですとか或いは
0:13:37	今後ですね、社内でのそのチェック体制の再構築、こういったところを今検討しているところでございます。そういったものが機能するようにですね事務局としても、各顔をリードしながらですね、対応していきたいというふうに思います。よろしく申し上げます。
0:13:57	逆ですよろしく申し上げますカミデ山地すいません。
0:14:02	はい、規制庁カミデです。耐震記念 03 についてお伝えしたかったのは最初にお話した点で、これ以外のものが非常に大事で、処理場悪いことが必要ですよっていう認識が 1 位、もちろんこちらはそういう認識でお伝えしていたのか。
0:14:21	キャッチアップされてなかったのよで改めて伝えたところですね、当然資料の中身一つ一つ細かいところはありますけども、本件お伝えすることは最初の 1 件ということで、全体的にですね、日本原電の中できちんと体制を組んで、
0:14:39	チェックしたものをきちんとしたものを資料として提出してもらえるように、よろしくお願ひ
0:14:47	この資料については以上です。
0:14:53	はい、日本原燃さんはですね、1 点だけ、少し確認させてください。本来であればウォークダウンチーム後から確認すべきところとは考えますけれどもちょっと私のほうか管理という観点でちょっと 1 点教えてください。申し訳ないです。
0:15:07	ここの冷却塔っていうところの示し方で私先ほど手段って言い方をしたんですけど、手段まででいいのか、こういう確認をしたってところで手段
0:15:20	でいいのかそこの実際の
0:15:23	エビデンスってものの程度感ってところが、ちょっとまた認識ずれたらまずいなと思ったので、そこだけ確認したいかってところで、
0:15:33	申し上げますと、私は手段を書いて例えばこの冷却棟近傍のところのものについては、ウォークダウンの中で、本当例えばどう図面等を用いて、こういう確認をしましたよっていうことを書き下していくのかなって考えておりました。
0:15:51	以上です。
0:15:54	規制庁カミデです。その点お伝えすると 35 ページに、
0:16:00	記録シートみたいなものがあっていっちゃん調査の手段もですね、一応こういう方針でやりますよっていうのは書いてはあるんですけど、これもまだですねなかなか具体的ではなくてやはり冷却等において、
0:16:17	この手段反応を使用して、どういう調査をして結果こうなったのかというところをプロセスの確認のために具体のエビデンスが欲しいと。

0:16:28	つけたつけないとわからないんじゃないかということです。当然配置の話もそうですし、
0:16:39	特によくわからないのかの配管もですねBCクラスの取り合いがないとか相対変位が考える必要がないと言ってることが全くこちらとしてこちらには情報としてはないので、そういったところがあるような資料を終えつける。
0:16:57	次回のすべてのものにそれが必要かどうかというのは当然そちらで
0:17:04	考えていただいてですね、効率的な説明方法というところだと思いますけど、まずはこのプロセス手段の妥当性を確認するために具体のエビナで説明してはどうかという。
0:17:17	以上です。
0:17:19	はい、日本原燃サガワです。ろご指摘理解しました。まずこれ、我々が良くなかったなっていうところとも思って考えてますのがまず1点で、次回の今のお話にありました配管の取り合いっていう総合影響みたいなところですね、そこを最初、
0:17:35	次回を含めて一式つけちゃいましたっていうところでそれは違うでしょうというご指摘もらって、全部外したというところで、そこはやっぱり第1回注文しっかり残すっていうところで、そこを復活するっていうことと、さらにそこだけではなくてこの記録シートっていうところを具体的にどう活用して冷却塔を
0:17:54	いたのかっていうところまでをきちんと徹底して説明したいと考えてございます。以上です。
0:18:02	規制庁感じです。よろしく申し上げます。
0:18:11	えっと他規制庁側から事実確認はございますでしょうか。
0:18:22	よろしければ、起電03についてまず不開示情報がなかったかを確認なんですけれども、日本原燃いかがでしょうか。
0:18:32	はい、日本原燃スケカワですけど、今の議論におきまして、赤い情報等の発言はありませんでした。以上です。
0:18:40	規制庁モリノです。かしこまりました。それでは本件の資料の3の修正の方針について原燃から申し上げます。
0:18:52	はい、日本原燃サガワです。先ほど議論したところになってきますけども、この具体的なものをで冷却塔なり、冷却塔に対してどう見たかっていうのは既設備もそうですし、建物がかもそうなので、ウォークダウンの結果とかを用いて示していくってことで修正いたします。以上です。
0:19:14	はい。規制庁側から特にコメント等ありますでしょうか。
0:19:23	よろしければ次の資料で起電13について、当日確認を行います。規制庁側から確認申し上げます。
0:19:37	規制庁、本日おんなじようですけど13番について何か説明するところはないですか。よろしいですか。



0:19:46	日本原燃サガワでちょっと補足だけ1点させてください。主冷却塔のところの水平2方向の結果をここにつけた考え方っていうところについてで水平2方向の補足説明資料がありつつ、ここにつけた理由としましては、ちょっと建物側のモデルの違いっていうところで、
0:20:06	ちょっと考察的なところにその建物記念っていうところのモデルの違いということがちょっと出てきてしまったので、本当。
0:20:14	水平2方向の補足ではなく、こちらで説明したいって考えたことで、今回この店舗入れさしてもらったっていうのが考え方になってございます。以上です。
0:20:31	規制庁カミデです。租税では、確認させていただきますけど
0:20:38	サッポロの発給的影響の話もそうで前回ヒアリングのときの話をどうとらえているんですかという話なんですけど、24ページのフローですね。
0:20:54	そのネットの評価を時刻歴かネットじゃないですね、冷却塔の評価を時刻歴等床応答曲線、それぞれ違う方法で評価するという点について、基本方針との対応関係など、
0:21:11	どうなってますかという話を聞いてそちらで整理するという話だったと思うんですけど、ちょっと整理された結果が見えなくてですね、どこにどう表したPARというのを説明いただけますと、
0:21:27	すいません、日本原燃サガワですみませんこれ冒頭説明するのは自分が失念してまして申し訳ございません。今患者さんの御指摘に対しまして本当今日方針上で、地震応答解析時刻歴なのかっていうところについては考え方示しますということで私、申しました。それにつきましては今の別紙4対応の中で、
0:21:47	しっかり書き下した上で必要に応じて、今回1の耐震設計の基本方針の一番上のとこですね、1-1まで戻すのかそれともホームまで戻すのかというのは今検討してございます。そういう検討しているということで暫定案でも入れておけばよかったんですけども。
0:22:05	その暫定案も入れずに冒頭の説明もなかったっていうのは自分のミスになります申し訳ないです。対応はしっかりやっております。以上です。
0:22:17	規制庁カミデです。
0:22:21	資料、何も説明もなく出てくると。
0:22:25	そういう無駄な確認をする時間が出てしまうので、気をつけていただくということだとは思いますが今その販売っている話っていうのはどういうことか。もう少し具体的に説明が今できるのであればしていただけますか。
0:22:43	はい、日本原燃サービス所掌がちょっとページをちょっと確認した上で話させていただきます。
0:22:55	日本原燃さんはですね、今別紙の4-4っていうところになってきまして地震応答解析の基本方針というところのイトウ層だところですね、やってこのフローのところでも時刻歴を使う場合っていうものと

0:23:13	モーダル解析を行う場合っていうときに、こういうことをいうところで使い分けをしますよっていうところをここに考え方をフローの下なりに変えた上で、中性子用を考えてました。摺動だけで書いてしまうと、唐突に出てきますので、
0:23:31	そういうことを書きますよっていうのを冒頭のほうに書いた上で入っていくと、その書き方については先ほど申しました通り、最終的に4-1-1-4っていうんと。
0:23:43	ハブの株っていうか、ちょっと下に来る基本方針ではなくて、4-1ですね、のところに必要あれば改定修正していきたいというところで今検討してるっていうのが全体になってございます。以上です。
0:23:58	規制庁カミデです。すいません確認したかったのはどこにどう示すっていう書類の体裁上の話ではなくて、その時刻歴で解析するものを有効と曲線で解析するもの、両方ありっていうフローを
0:24:15	なぜこれでいいと考えているのか、もしくは新たな考え方でどちらかにまとめようとされているのか、ちょっとその辺の実態の話をお聞きしたかったんですが、いかがでしょう。
0:24:29	うん。
0:24:33	はい、山根サガワです。フローの書き分けという点でいきますと、機器配管系の地震応答解析手順っていうところの一つのフローの中にイトウ時刻歴等、
0:24:45	モデル解析のモーダル解析の両方が見えてくることになりますので、こういう場合はこっち、こちら側を適用しますよってところの考え方を示していってんこのフローでどこをくださいませ。すいません。はい。
0:25:01	町長カミデスケカワのこういう場合はっていうところを今どう整理しているのかあもしくはまだ整理できていないのであれば、そういう状況を教えてもらえればと思います。
0:25:11	はい、日本原燃サガワです。すいません。ご指摘なかなか回答になってなくて申し訳ないです。場合っていうところに関しましては、例えば非線形であったり効果っていうところは確実に時刻歴使えますというところでそこは明記すると、それ以外の解析ほかにも今後出てくるものに対してどう使うのっていうところは今調査した上で、どこまでを書くかっていうところを今、
0:25:31	してるってとこになってございますので具体的に時刻歴を使う。
0:25:35	フェイスっていう考え方ってところなんで。
0:25:39	そういうことで書いていくと、そうなったときに、今回のこのイトウ問題というか、今回の議論になった冷却塔っていう直接支持構造物っていう言い方があっても話ありましたけどそういうものも明記した上で読めるように修正すべきだということで今検討してございました。以上です。
0:26:00	規制庁カミデです。
0:26:03	店舗をまた資料しっかり見直したものを出示してもらおうということだと思っておりますので、今の説明を聞く限り、まだこのフローについては

0:26:15	ヒアリングで話をしたにもかかわらず、まだ生にウエノ状態だと。
0:26:20	それからそのままこちらに出てくるっていうことはよくないことだと認識してください。基本的には
0:26:28	そういったものを解決した状態にチェックをしたものが出てくるって。
0:26:34	どうしても間に合わないものについてはそこは明示してですね、次で話説明をしたいところなんですというところをきちんとコミュニケーションとった上でヒアリングに臨めるという形が望ましいと思いますので、
0:26:50	その辺りですねちょっと対応を考えていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。
0:26:57	はい、日本原燃サガワです。はい今の御指摘に対しまして、このフローに限らず他のフローもそうですけれども採算どこを食らってどこに至ったのかっていうところがわかるようにしなさいというところはコメントいただいておりますので先ほど冒頭カミデさんが一つ目がありました。
0:27:14	今の修繕方針が甘いんじゃないかというところは認識しております。認識した上で、今のフロー全体を修正しまして、それで足りてるか足りてないかの確認をした上で、ここを比べればここに来るなんていうようなフロー全体の考え方は示せるように修正します。
0:27:31	すみません先ほどは自分の頭の中の話をしてましたのでちょっと足りなかった部分はしっかり出す前までには修正いたします。2点目としまして、資料の修正の失火立ち方としまして我々が出してくる資料の中で本当すみませんこれも自分の確認ミスなんですけども。
0:27:48	私が確認しているものは次回御誓いじゃない。今後こういうところを今示します。ここ示しません。今こういう状況ですっていうところまで本当テキストボックスなりで書き込んで出してますので、その辺りにつきましてもこのフロー出すときに書くべきでしたっていうことは思っております。
0:28:05	そこまで自分の方でフォローできるように今後対応したいということで考えてございます。以上です。
0:28:14	規制庁カミデです。この資料についても中身の細かい点はお伝えしませんのでそちらで説明いただいているということで認識が違ってそうなところだけお伝えしましたので、
0:28:29	この資料について私のほうからは以上です。
0:28:34	簿価で町側から事実確認ありますでしょうか。
0:28:40	よろしいですか規制庁ハバサキです。13番、県の13番についてでよろしいですか。
0:28:50	学会どうぞ嘘冒頭そのさんから説明がありました整理を行な話とか後、こちらから指摘したモデルの変更を伴うという妥当性の話ですねそれがページですと37ページ、9ページのほうに今回チェック体制というふうに認識しました。

0:29:10	結果としては、この制度かなというふうにあるんですけども、宿舎の例えば、3637 ページのモデル変更全部を御説明全般今回のモデルをどうだということなんですね。
0:29:27	もう少し条件とかですね結果のてりや説明っていうかですねあっと出してないから例えばへとこういう値の場合はモードですね
0:29:37	当たり前といえば当たり前なんでしょうけれども、そういった情報をなるべく形にできないかなっていうのは思うんですが、まず、3637 ページについてはいかがでしょうか。
0:29:54	はい、日本原燃コウタケでした。ブースティング公益的いただいた通り固有値の被ばくに際してモード図であったり今ほかに。
0:30:02	とにかくできそうなものであれば検討させていただいて追記させていただきたいと思います。以上です。
0:30:09	それちゃうわけです。それまあそういう情報をこうだ審査というのは県説明があっても思いますので、引き続き検討をお願いしていきたいというふうに思います。それと 3839 ページ水平 2 方向の話ですねあ冷却という観点でこれも何度も。
0:30:26	それとこちらからお話をした結果がこちらの資料として今回出てきたのかなという認識なんですけれども、まずこの位置付けなんですけれども、今 13 番の資料のほうにこれってなってる一番製品方向の資料としては、
0:30:43	この情報っていうのは入るんですか入らないんですか。
0:30:49	日本原燃の公的ですが水平 2 方向側にこの情報は掲載する予定はございません。
0:30:55	以上です。規制庁ハバサキです。それはどうして。
0:30:59	どういう理由ですか。
0:31:02	日本原燃のコウタケです製品に高校の整理としましては、資料にも記載の通り議連設備としてこの設備をとらえておりまして、その中では応答時間明確という理由により影響が軽微と判断してございます。今回この資料の位置付けとしましては、
0:31:20	堆積モデルがⅢで模擬されていることによりまして、詳細に過充填物が取り出していると考えてます。実際に今コメントいただきました通り進みましたように影響が出るのではないかっていうものを
0:31:35	確認してみた結果 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> が軽微であるということを考えておりまして、来レンガの綴じ不明確っていう整理をはそのままいきたいと考えているところです。以上です。
0:31:54	一応ハバサキです。わかりました今の説明わかりました。ただ一方、ご存知のように耐震建物 27 年、防護ネットですね、同じような鉄骨フレーム構造で隅柱について評価をしていって、そちらはした。
0:32:11	1 割強ですか、応力度比が増えてるんですけども。

0:32:16	だから、要は同じようなプレゼンポートで何でこっち側でなくてこちらはネットマ 厳格化それは今、多分、裏には、アスペクト比の違いだとか、何らかの形で理 由があるから、冷却塔に関しては、音軸、
0:32:34	という形になるというふうに思ってますので、そこら辺の考察を
0:32:40	してもらい必要があるんじゃないかなと思うような結果が本当あのネットその数 値がですね。てるだけでなかなかそこら辺の特性がわかりづらいついていうのは 1件と、あと先ほど言ったネット移管してですね、これ波及的影響のにも関わら ない
0:32:58	解析モデルだとか解析手法っていう説明までちゃんとしてあるわけなんでまし なこちらのほうでちょっとに関してはですね、それよりも上位のクラスということ もあるんでもう少し先の話なんですけど、おかしき条件とか、モデルありがたい 結果だったかですね、もう少し
0:33:16	県が職名が必要かなというふうに思ってます争点対応は可能でしょうか。
0:33:24	日本原燃のコウタケです。はい。ちょっと条件等に関しましてはネットをちょっと 横目に三つ拡充させる部分は管考えていきたいと思えます。またですねアス ペクト比っていう表現をいただきましたけれども、
0:33:40	設備の構造的な弁で言いますと、2ポツの水平2方向の影響についての一行 名鋼板弁に構造定性的には記載していたんですけれどもこういった部分を
0:33:56	もう少し拡充させるなり、こういうふうに影響軽微と考えているかってところ、
0:34:03	記載を充実化させて、また再度御提出させていただきたいと考えます。以上で す。
0:34:10	規制庁幅野です。はい、対応のほうお願いしたいと思えます。私から以上で す。
0:34:17	規制庁カミデです今の点ですねこの水平2方向の話はやはり基本方針で示し た確認のフローとそれの対応っていう意味で全体一貫性が通った説明になっ てるかっていうのを改めて確認いただいて、
0:34:36	どんどん資料のどの部分で説明するべきかといった点も当然全体の見直し に入ります。入ると思えますので確認して対応してください。以上です。
0:34:49	はい。
0:34:51	はい、日本原燃サガワです。今のカミデさんの御指摘に対しましては全体フロ ーっていうところの保険がわっ建物側と水冷側の繋がり給油所は現在修正し てますのでその辺の繋がりを修正します。孔食後半の御指摘ですね。
0:35:07	どこに書くべきかっていうところに対しましては、ハバサキさんとうちのコウタケ との議論の中であった、その応答軸が明確っていうところの考え方っていうと ころをしっかりと書いた上で、冷却塔はこうなんだっていうところにわかるような 修正をしたいということで今考えてございます。以上です。
0:35:27	規制庁カミデです。

0:35:30	まずは、応答軸が黒に従ってフローに従ってちゃんとやってるかっていうことをちゃんと確認していただきたいと応答軸が明確化って影響軽微というものについて、どこでどう説明するのかと思うんですよね。離隔等は
0:35:47	内数の一つとしてあって、今、この耐震基準 13 番にその結果は、じゃあほかの機器はどうするんですかっていう三番なんですか何番何ですかっていうところをちゃんと整理した上で全体体系、どうなってるか、全体の体系をどうするかということを考えて欲しいというところですよ。
0:36:07	もう一方は建家側の建屋側だと、この構造は、水平 2 方向の影響評価だって、ただき電の枠に入れると軽微だってなるようなんですが、
0:36:22	本当にそれでいいのかっていうところもきちんとして考えてそれが本当にあるべき姿なのかっていうところも振り返ってみてですね、10 局等の扱いをフローでどっちなバスとかっていうところも含めてですね、確認いただきたいという趣旨で
0:36:39	お伝えしたまでです。
0:36:43	はい、日本原燃さんはです。
0:36:45	今のご指摘理解してます。水平 2 方向の基本方針から補足説明資料 9 流れの中で、その説明が不足していると考えてございますので、それらについて個々個別の設備ってところがどうなっていくんだっていうところを見せるかっていうところまで含めて、
0:37:07	修正したいと考えてございます。以上です。
0:37:13	一応ハバサキケース今話へとカミデからも話があったように建物構築物Ⅱでは同じような鉄骨構造で評価を支援要綱の対象になって、こちらの冷却といったしてはならない。
0:37:28	ということを前も、私の方からも言ったんですがその理由であることも、そのアスペクト比ですねネット等の冷却塔では同じ鉄骨造でも、やはり構造形式が違うとその構造形式というのは、アスペクト比であったり
0:37:45	そういう物理的な状況が違うから、こちらではあまり影響がないと、その影響がないっていうのはあくまでも結果での最初からスクリーニングアウトできる話なのか、結果なのかっていうとか、
0:38:01	そこら辺の仕分けをですね、しっかりとしてもらえればという考えます。よろしいでしょうか。
0:38:08	はい、日本原燃サガワです。今の御指摘、理解してます。建物だからいいよって連絡から違うよっていうのはおかしいというのはもともと理解してございましてそこに対しましてモデルの違いとか今アスペクト比っていう言葉がありましたけど、それらの違いというところの考察は押さえてますけども、
0:38:25	その考察がしっかり書き切れてるかっていうと、そこは書き切れてないので、今言った御指摘踏まえまして、本当は全員だっというところまでしっかり書くことで修正したいと考えてございます。以上です。
0:38:48	はい。

0:38:49	と。
0:38:51	規制庁側から保管事実確認ございますでしょうか。
0:38:58	よろしければ起電調査についてですね解消法の発言となかったかと確認お願いします。
0:39:07	日本原燃のコウタケですちょっと一部解除方の発言がありましたので、確認させていただきます。
0:39:14	以上です。
0:39:17	規制庁思いますをたくさんちなみになんですけどその読解情報のところで具体的な箇所は特定されてますか。
0:39:31	はい、日本原燃のコウタケですねまた 39 ページの下のほうの
0:39:37	わかりました図面をちょっとあの発言してしまった部分があるので、海盆ありますが、イトウに審査を行いので結構ですので後程確認させていただきます。
0:39:51	資料についての終戦の方針を原燃からお願いします。
0:39:58	はい、日本原燃さんはですね、本資料の修正方針としましては、本当フローのところですね、フローのところだけ直すのではなくて基本方針で、どういう場合にこっちに行くんだという場合にこっちに行くんだってところのプロ基本方針上基本報償直した上でこのフローとの
0:40:16	連続性を直してくつつけるのはまずいって、2 点目としまして水平 2 方向ってところ、ここも同じですけれども、本当基本方針と補足説明資料でそれに対して、今回、建物構築物と機電設備として何が違うんだってところを、
0:40:32	わかるようにして、本当体系的に修正するという事で主に基本方針側のほうから修正していくということで理解してます。以上です。
0:40:42	はい。今のちょっと下に説明いたし内科コメント規制庁側からありますでしょうか。
0:40:51	よろしければ次起電 16 の低ピッチスパン法についてですね、本件について、先に補足説明すべきことがあれば原課お願いします。
0:41:05	日本原燃の見方ですと先ほどから指摘いただいている基本方針との繋がりにていうところだと本資料の、今回の修正として応力係数と二乗力っていうのを基本方針からわかるように設定器対応。
0:41:19	カミデしておりますので、また別紙 4-10 関係の耐震支持方針の中でも応力係数と二次応力に対して記載を拡充しておりますが本日提出しておりませんのでそれをその旨説明させていただきました。以上です。
0:41:34	はい。それでは規制庁側から事実確認をお願いします。
0:41:40	規制庁カミデです。
0:41:43	この耐震記念 16 の資料は、これまでの 03 の資料とか、13 番の使用みたいに、認識が違うから認識を合わせたほうがいいというものではなくて、単純に

0:41:58	25 ページのところの中見てですね、問題意識を伝えるために、ちょっとモデル図に番号入れてもらったりということをして判断する上で、こういうところが不足してますよというのをお伝えしたかっただけなので、その対応を
0:42:18	をしていただいたんだと思っていますので、具体的にはですね、この 25 ページの中の
0:42:25	ばり部の軸方向の確認をしている部分なんですけど、その端部ですね、番号で言うと 34 番の
0:42:38	番号以降の部分が
0:42:42	モデル化ないので、
0:42:44	この軸方向の部分の確認として、ここまでのモデルで適切なかどうかという考察を入れて欲しいと思っています。具体的には保守的に総じてこのこういう場合総じて保守的に出るんですよっていうのであれば、
0:43:00	そういったことを技術的に説明いただければと思いますけど、この部分、モデルがここで切れているというところについて、それでも、この日影響評価みたいなものが、
0:43:16	結果が妥当なのかというところを説明いただきたいという趣旨なんですけど、ご理解いただけますと、
0:43:24	日本原燃トミタです。はい、わかりました。患者さんの御趣旨理解しましたので、その先ですね、34 番以降のところの考察を入れてさせていただきます。
0:43:35	日本原燃さんがですね、店舗補足させてください。今カミデさんの御指摘の中で技術的っていう発言がありましたので技術的観点から考察っていうところ書いてこのモデルでいいんですっていうところで考察したりいたします。以上です。
0:43:51	はい、規制庁カミデです。このモデルでいいんです。日本語としてもあったんですけど、このモデルでこのモデルでも、要は
0:44:03	比較結果型等なんですけど、今言い方詳しくするとそんな感じだと思いますので、このモデルでやっても、第説明したい評価なり傾向がちゃんと説明できるんですというところ
0:44:18	説明いただければと思います。よろしく申し上げます。
0:44:26	原電トミタです。はい、了解しました。以上です。
0:44:31	規制庁カミデです。私からこの資料については以上です。
0:44:38	ほか規制庁側から実際にございますでしょうか。
0:44:47	よろしければ、不開示情報の確認をまずお願いします。
0:44:53	ナガトミタ深い情報ございません。
0:44:56	一方、
0:44:58	それでは本資料の修正方針を受けないからお願いします。



0:45:03	日本原燃トミタです。はい、時効効果の確認について技術的観点でこれ影響評価ができるのかっていうところの考察を追加して提出したいと思います。以上です。
0:45:13	はい。
0:45:15	今ほどの原燃の説明に何かコメントがあれば、
0:45:23	はい。それでは本日予定していた議題はすべて終了したかと思えます全体を通して、規制庁がもしくは原燃側から何かあればお願いします。
0:45:42	規制庁繋がりでですけども、今日の資料は以上ですけども、今週金曜日に予定されていたんやリングガーダ延期になったんですけどもその辺りの経緯をちょっと教えてもらっていいですか。
0:46:04	すいません日本原燃の鳥原です。今すごいさんおっしゃっているヒアリングというのは外部衝撃関係のヒアリングのことでしょうか。その点ちょっと確認ですけども、
0:46:14	きちつとツガネず、液状化を憲法はペンです
0:46:20	すいません。
0:46:24	日本原燃の佐藤です。液状化時の新しいモデルを先週末からちょっと構築していて、ちょっとそのモデル設定が、
0:46:39	主役すぐに間に合うかと思ったんですが、やはりろうと難しいところがありまして、まだその保守性の確認とか、モデルの妥当性といったところが統合、
0:46:55	上切れなかったものですから、週明けに出そうとしていたヒアリング資料が両備の提出になってしまいますがなってDM今います。もう目標に今やっておりますので、
0:47:12	そういう意味で、ちょっとすみませんヒアリングのほうはちょっとその翌週に
0:47:18	せていただきたいというふうには今考えております。以上です。
0:47:24	規制庁ストレス／の状況はわかりましたけれどもキックですね、内容を検討していただいてしっかりした資料出していただくということが大事だと思いますので今週金曜日に杭を今日目標として、
0:47:39	筆的なものが、
0:47:41	中身な
0:47:42	リスクないそれはそれでまた困りますのでその点しっかり精査したものが資料提出していただいています本店にポツとですね、
0:47:50	うん。ここも当日になってやっぱりお聞きしますっていうのではなくて、こっちにちょっと中長期的に見て、
0:47:58	しっかり計画立ててやったタイプも出さないかんわけでしょうか。
0:48:04	日本原燃佐藤です。そういう意味では今日の夜にですねその保守性の確認の上で解析結果が今上がる予定なんですけど、それを

0:48:15	がちょっと芳しくない場合はまたすみません、金曜日の資料提出も述べさせていくいただく可能性がゼロではないので、ちょっと進捗を踏まえて、中途半端な資料出さないように、事前に
0:48:31	スケジュールのほうは、共有させていただきたいと思います。以上です。
0:48:38	規制庁コサクですけど、
0:48:41	ちょっとよくわからないんですけど。
0:48:44	今週資料提示してヒアリングをって言った話は、審査会合のラップアップとかで結果の説明ではなくて、ちゃんと方針として整理をしていく。
0:49:00	設置まずは説明をすると。
0:49:02	いうことであり、かつ、何か相談事項があるみたいなことで、
0:49:10	フレーズ島民部のようなレベルの情報で整理をして説明したいというような話と、今言った解析結果が出るのか云々っていうのが余りにもフェーズがずれているような気がして、
0:49:23	何をやっているんだっていうこと自体がわからなくてですね。
0:49:29	先ほどツガネがしっかりとした資料とは言いましたけど、結果をしっかりと会計っていうことではなくてですね。
0:49:37	どういうことを考えているのかそのお考えとして漏れがないようにイトウ。
0:49:42	進めようとしているのか。
0:49:44	内容としての考えを整理してあれば、しっかりと
0:49:48	なるほど。
0:49:50	なんでそうずるずるずるずるずるずるずる。
0:49:52	私は全くわからない。
0:49:54	S
0:49:56	一体Gapで言われたことと、なんでこんなふうになってるのかっていうのを説明していただけますか。
0:50:04	日本原燃佐藤です。
0:50:08	ランパート差異は申し上げてごさいませんが経常かつのその一次元の新しいモデルの
0:50:17	いうイメージというか、見通しが我々も全くなくて、そこはいつどう
0:50:24	規制庁さんの方等をしっかりと議論したいなあという思いがちょっと強くて、
0:50:33	ちょっと変な言葉でしたがブレストみたいなことを早めにやりたいとお伝えしてしまいました。その中の関係者で集まって込まこの辺のルール、
0:50:49	がいだらうというのとあと、それ以外はちょっともう無理だらうっていうところで、モデルの方向性が見えましたので、
0:50:59	それを今構築していますので、ただ、この結果、解析結果が端も分もかからないものをご議論いただいてもうちちょっとまずいかなあということもありまして、それで

0:51:16	全部の計算は接することができないんですが、試計算という形で見通しぐらい経った時点で御説明してちょっと
0:51:29	ご確認いただければいただきたいという思いで少しちと提出が遅れております。以上です。
0:51:40	規制庁コサクですけど、今お話あったこと自体も、我々と認識共有できない状態で勝手に進めているってことです。
0:51:50	せっかくラップアップで方向性を話をした。
0:51:54	というやりとりが非常によくなくて、
0:51:58	原燃の対応としての理解の一致を我々としては理解を得ていると。
0:52:06	いう状況なんですよ。
0:52:09	一つに絞られます短で言いますけど、その一つが我々の
0:52:16	想定しているものと合ってるかといっていないかもありますし、我々が受容可能なものかどうか分からない。
0:52:23	結果を
0:52:24	今のサンプルとして作ること自体が無意味かもしれないというリスクは考えないと思います。
0:52:35	日本原燃佐藤です。進捗食うに関してちょっと今日、状況の共有が足らず本当に申し訳ございませんでした。
0:52:45	それとおっしゃる通り、そもそもモデルが規制庁さんとして受け入れられないという、
0:52:54	最も
0:53:00	可能性としては主に承知しております。
0:53:03	ただ
0:53:06	うん。にしてもこのモデルでやりたいって言った
0:53:13	すぐ後に、やはりこれでは駄目ですというのもし、
0:53:18	御議論しておくにしているんですけど。はい。申し訳ないけど、そういうぐらいうやることがもったいないというか、意味がなくてですね。だから私は方針として伝えてくれれば良いと申し上げたわけ。
0:53:34	これでいきますと宣言するからいけませんでしたって言うに戻しになっちゃうんだよっていけるかどうかこういう継承していますとか、こういうもん潰し込む。
0:53:45	必要がある箇所を考えていますとかっていうことを言えばいいわけで、
0:53:51	それが業務をやる上での計画段階の話なんですよ。
0:53:59	計画段階からもう当たりをつける解析をしてこれでいけるというふうにしますっていうことで、
0:54:06	解析方法を定めるっていうのはもう設計になってるわけです。
0:54:11	設計をやる上での計画を立てるというところで、

0:54:17	そのプロセスをちゃんと認識しないでだらだらと作業してるから、皆さん1年経ってもちゃんとした設計ができない。
0:54:25	ということになっているということをよく認識いただいて、
0:54:29	ちゃんと計画立てて作業をする計画立てて時間を区切るということもそうですし、内容としてちゃんと手順を踏むと。
0:54:38	ということもそうですけど対応いただきたいと思ってます。先日の
0:54:45	宮腰事業部長がブック市村部長のところにこられてお話をした際もですね、そういうプロセスがちゃんと含めていない、それによってちゃんとした決定ができないで、意見は作業していると。
0:55:01	ということの問題意識をお伝えをしているんですけどそのあたりをお聞きなってますか。
0:55:09	日本原燃佐藤です。講師の方からは、あの話は伺っておりました。そういう意味ではすいませんちょっと私のほうで少し
0:55:26	中央、一つ飛ばしてしまっただろうとしていた悪さ加減がありますので、
0:55:33	ご指摘いただいたように、
0:55:37	結果なくとも、方向性についての確認をいただくという。
0:55:44	まずはプロセスを踏むということで対応をさせていただきたいと思います。
0:55:50	大変失礼いたしました。
0:55:52	以上です。
0:55:54	はい、コサクです。
0:55:56	この点よく理解をしていただきたいと思います高圧サトウさんだけに限った話で、
0:56:02	先ほどのヒアリングでも話を
0:56:06	ヒアリング資料として話をしたことも含めてですね、全体として、何が問題であり、何を潰し込む必要があるかっていう認識をちゃんと整理をしてそのために必要なことをやるという計画っていうことですから、
0:56:23	共通する中でしっかりとよろしく願いしますって特に本件は、
0:56:28	審査会合で課題として挙げて
0:56:34	どういうふうにしていくかも含めて情報共有しながら、
0:56:40	また手戻りのないようについていうところのプロセスを踏んでということだと思しますので、
0:56:47	まずは、その状況っていうのをちゃんと書類としてまとめてですね、こういうことをやっていますということを説明いただけるようにお願いします。よろしくお願いします。
0:56:59	日本原燃佐藤です。承知いたしました。
0:57:05	規制庁ハバサキです先週の段階ですねその週末で下式を通してっていう話のアップ中なときもあったんですけども今そこ800パターン言われたのはですね

0:57:23	最近あんまり出てこないんですけど、ロジックですね、ロジックとしてこういう方針でやりたいっていうのは、1枚でもいいんで、それで出されて出して規制庁側ともう賄えるということは、
0:57:39	今回抜けてしまったということですね、先週の段階で週末で解析が終わるとい う話でしたのは、Lavaそれはもう一緒でもいいかみたいな話なんですけども、 結果的に相関式には無理だっとなってるならば、やはりそう判断が間違ってた と。
0:57:56	となってしまう。いずれにしてもそう、以上やっていったようなまず方針が 決まったらそれをロジックという形で提出いただいて、我々としても考えると、そ の事業者の考えをそこでいろいろ確認し合うと。
0:58:13	うかですね、そういう行為のやはり必要かなというふうに今思いますので、 今後対応でもですね、みたいなことがあると思いますので、十分そこは留意い ただければと思いますが、コサク調査官そんなような趣旨かなというふうに思 うんですが、よろしいですか。
0:58:31	はい、古作ですそれでいいと思います。これまでもロジックがちゃんと詰まっ てる。
0:58:41	それにしてもまとめてもらわないと。
0:58:43	ここが検討足りない。
0:58:48	その認識でいいかと思います。
0:58:52	規制ちゃうわけです。はい。ロジックでそのあとに別途確認した後に、結果とい うのは本来の流れだというふうに考えますので、リレーション、事業者としても よろしく願います。私から言われます。
0:59:08	日本原燃佐藤です。墓石のロジックのほうを整理してそれを確認していただく ポストの方もちゃんと踏んだ上で検討の進めたいと思います。申し訳ございま せんでした。ありがとうございます。
0:59:20	以上です。
0:59:29	規制庁側から他の確認ありますか。
0:59:38	よろしければ最後の原燃側からこちらに確認することはありますでしょうか。
0:59:48	日本原燃フレームです特に原燃側はございません。
0:59:51	はい。それでは本日のこれにてのヒアリングを終了したいと思います。お疲れ 様でした。
1:00:01	わかりました。

